

## 4組・5組 英語活動学習指導案

平成24年11月2日(金) 第5時限

4組教室 指導者 伊藤 和代

高木 理人

A L T Raquel Horiguchi

1 単元 Lesson 4 なにいろかな “What color?” (3時間完了)

2 単元目標

- (1) 色を表す英語に関心をもち、進んで友達やA L Tとコミュニケーションを図ろうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) へんしんとネルチャンツやゲームを通して、英語での色の言い方に慣れ親しむ。  
(英語への慣れ親しみ)
- (3) レッド、ブルーなどの外来語としての色の呼び方と、英語の発音の仕方の違いに気付く。  
(言語や文化に関する気付き)

3 単元構想

本校の特別支援学級は4組(知的障がい)が2年1名、3年2名、4年1名の4名で、5組(自閉症・情緒障がい)が2年1名、6年1名の2名、計6名が在籍している。特別支援学級は、在籍児童が学年をまたがっているだけでなく、卒業や転出入による入れ替わりもある。そこで英語活動においては、同じ単元でも内容を少しずつ変え、より英語に慣れ親しむことができるように考えて毎年カリキュラムを組んでいる。毎朝のEタイムでは合同で英語のDVD教材を視聴している。朝の健康観察において英語で体調を尋ねると、その時の健康状態や気分を英語で答えたり、ジェスチャーをつけたることができるようになってきた。色については昨年度も英語活動の授業の中で扱っているが、身近にある色の呼び方と英語での言い方がリンクしていない部分がある。生活单元でかき氷作りをした時、氷にかけるシロップを相談していたところ、「先生、ブルーハワイってどんな色？」と聞いてくる児童がいた。また、人気の戦隊ヒーローの名前が話題に出たとき、「赤色だからゴーレッドなんだね。」と答えると不思議そうに首をかしげる姿も見られた。

色は児童にとって身近なものであり、生物の名前から商品名まで英語での色の名前がついたものを目にしたり聞いたりする機会が多い。英語の言い方を覚えることで、より英語に関心をもつことのできる素材の1つとも言える。視覚から入る情報やゲームを取り入れながら楽しく活動することで、児童は色の英語表現に慣れ親しみ、英語をより身近に感じることができるだろう。また、児童はA L Tの発音を聞き、まねをして言うことで、より英語が言えたという満足感を感じるだろう。

そこで、楽しくA L Tの発音のまねができるように「へんしんとネル」を使い、「赤」が“red”になるように日本語の言い方から英語の言い方へ変わるチャンツを取り入れる。さらに「レッド」が“red”になるチャンツも加え、色を表す英語への理解を深めたい。チャンツは最初全体で練習し、個人でも発音ができるように十分時間を確保し、自信をつけさせる場としていきたい。集中力が持続しない児童のため、歌や体を使った活動を取り入れ、変化をつけることで意欲化を図っていく。また、児童たちは読み聞かせが好きなので、本单元ではパネルシアターによる“A Beautiful Butterfly”の読み聞かせを行う。その後、A L Tが発音した番号の部分に指定した色で塗る活動を行う。これらの活動を通して、A L Tの発音を聞いて十分なインプットができると考える。その後個々の児童が塗ったパーツを1つに合わせると、1匹のチョウが出来上がる仕組みになっている。全員で1つのものを作り上げる活動は、児童たちに協力することの大切さを味わわせ、大きな満足感を与えると考える。

児童には、それぞれのコミュニケーションの目標(相手の目を見る。はっきりとした声で伝える。うなずきながら聞く。)を自分で決めさせた上で、振り返りをさせている。全体の前で自分ができたことを発表させ、教師側がよかったところを大きく称賛する。英語活動への意欲化を図るだけでなく、英語活動を通して、個々の児童のコミュニケーション能力を育てていきたいと考える。(下記の表は個々の実態と教師の願い)

	児童の実態	教師の願い
A児(2年・男)	きれいな発音ができる。表現力が弱い。	大きくジェスチャーができるようになってほしい。
B児(2年・男)	はっきりした声を出し、やる気がある。怒りっぽい。	周りの動きを見て仲良く活動してほしい。

C児（3年・男）	友達と仲良く活動できるが、表現力が弱い。	自信を持って発話やジェスチャーをしてほしい。
D児（3年・女）	はっきりした声で歌が歌える。気持ちにむらがある。	笑顔で元気よく活動に取り組んでほしい。
E児（4年・男）	意欲的で声も出るが、気持ちにむらがある。	周りを見て、仲良く活動してほしい。
F児（6年・男）	相手を見て話を聞ける。表現力が弱い。	自信をもって、はっきりとした声を出してほしい。

#### 4 指導計画

時間	学習活動と使用表現	教師の手立て	主な評価		
			コ	慣	気
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と英語による色の言い方の違いに気づき、発音する。 red, blue, pink, yellow, green, orange</li> <li>What color? Red.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が関心をもって取り組めるように、マジックウォーターで色水作りをする。</li> <li>日本語と英語のアクセントや発音の違いを比較しやすいように、へんしんトンネルを用いる。</li> </ul>	○		○
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>A L T の指定した番号の場所を、指定した色で塗る。（本時） One is red. Touch blue.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の英語での言い方に慣れ親しませるために“A Beautiful Butterfly”の読み聞かせの後、チョウのパーツのぬり絵をする。</li> <li>パーツを組み合わせて1匹のチョウを完成させ、タッチゲームを行う。</li> </ul>	○	○	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の尋ね方や答え方を知り、会話をする。 What color is it? It's red.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見た色を答える活動から、色を予想して答える活動を取り入れるために「えいごリアン」のビデオを使う。</li> <li>メインアクティビティの輪投げゲームで、会話の時間を確保するために、児童を2つのグループに分ける。</li> <li>くじを引き、得点が2倍になるラッキーカラーを設定することで、児童が進んで色を尋ねたり答えたりできるようにする。</li> </ul>	○		

#### 5 本時の学習計画（2/3）

##### (1) 目標

- “A Beautiful Butterfly”のお話を聞き、ぬり絵をする活動を通して、色を表す英語に慣れ親しむ。

##### (2) 準備

- ①児童・・・ア パスティック
- ②教師・・・ア CD イ ラジカセ ウ 色カード（6色） エ へんしんトンネル  
オ “A Beautiful Butterfly”のパネルシアターセット カ ぬり絵カード  
キ コミュニケーションの目標の絵カード ク カラー軍手 ケ マイク

##### (3) 展開

段階	児童の活動	教師の活動（○担任 ●ALT）
Warm-up	1 歌を歌い、あいさつをする。 ・“Hello song”を振り付きで歌う。	○CDで音楽を流す。
	2 各自の Today's goal を選択する。 eye contact ,clear voice, response	●Today's goal の絵カードをに合わせてジェスチャーをする。 ○順に指名し、自分で選んだ目標の絵カードの下にネームプレートを貼るように指示する。
	3 円になり、A L T と一人ずつ会話を する。 A L T : How are you? 児童 : I'm fine. / I'm sleepy.	○“ <u>Make a circle.</u> ” ●“How are you?”と児童に尋ねる。 ○A児・B児がA L T の目を見て話すことができたら称賛する。
	4 キーワードカルタをする。	○“ <u>Let's play key word karuta.</u> ”
	5	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Review</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A L T : The key word is red! Blue. (リズムにのって) 児童 : Blue. (発音する)</p> <p>A L T : Red. 児童 : (赤の色紙を上上げる)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを言われた時には、カードを取って掲げる。</li> <li>・キーワード以外の時には、A L T に続いて発音する。</li> </ul> <p>5 歌を歌う。</p> <p>1 0 ・ “Action Colors” を振り付きで歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>“Let’s watch a demonstration.”</b></li> <li>○ ● 見本を示しながらやり方を説明する。</li> <li>○ 一人に6色の色カードを配る。</li> <li>○ キーボードを操作してリズムをとる。</li> <li>○ C児・F児がA L T に続いてはっきりとした声で発音できたら称賛する。</li> <li>○ CDを流す。</li> <li>○ ● 児童と一緒に楽しく歌う。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Activity</p>	<p>6 “A Beautiful Butterfly” のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルシアターを見ながら、A L T による英語の語りを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>“Let’s enjoy.”</b></li> <li>○ ● “A Beautiful Butterfly” の話（一部改編したもの）を聞かせる。丁寧に、語りかけるように話し、色名の部分は特にゆっくり強調する。</li> <li>○ A L T の語りに合わせて、パネルシアターで場面の様子を見せる。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Main Activity</p>	<p>7 チョウのパーツのぬり絵をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A L T : Red, please. 児童 : OK. (赤色を取り出す)</p> <p>A L T : One is red. 児童 : (1の数字の所を赤で塗る)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A L T が言った色のパスティックを取り出す。</li> <li>・“One is red.” というようにA L T が指定した個所を、指定した色で塗る。</li> </ul> <p>8 チョウのパーツのぬり絵を合体させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で塗ったパーツを合わせて、1匹のチョウを完成させる。</li> </ul> <p>9 タッチゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したぬり絵を見て、A L T の指定した色を指さす。</li> <li>・A L T が指をさした色を言う。</li> </ul> <p>10 授業の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人ずつ選んだ目標について振り返る。</li> </ul> <p>11 歌を歌い、あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“Good-bye song” を振り付きで歌う。</li> <li>・“Thank you, and see you.”</li> </ul> <p>3 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>“Let’s color the butterfly.”</b></li> <li>○ ● 見本を示しながらやり方を説明する。</li> <li>○ 児童にぬり絵カードを配布する。ぬり絵カードはそれぞれがチョウの羽の一部となっている。色を塗る仕切りは全部で6つあり、1から6の番号が書いてある。</li> <li>○ ● 取り出す色と塗る個所を指示する。</li> <li>○ 児童がA L T の指定した場所に指定された色を塗れているか評価する。</li> <li>○ ● 完成した児童からパーツを持ってきて黒板に貼るように指示する。</li> <li>○ パーツの裏にマグネットシールを貼る</li> <li>○ <b>“Let’s play touch game”</b></li> <li>○ ● 完成したぬり絵を使ってタッチゲームをする。</li> <li>○ E児、F児が困っている子に優しく教えることができたなら称賛する。</li> <li>○ <b>“Let’s check your today’s goals.”</b></li> <li>○ マイクを児童に渡し、振り返りを尋ねる。</li> <li>○ CDで音楽を流す。</li> <li>○ ● 歌の振りを児童に踊りながら示す。</li> <li>○ 大きな振りや大きな声の児童を称賛する。</li> </ul>

(4) 評価

パネルシアター “A Beautiful Butterfly” の読み聞かせやチョウのぬり絵、そのぬり絵を用いたタッチゲームをする活動を通して、色の英語表現に慣れ親しんだか。 (活動7・8より)